

# 21世紀兵庫長期ビジョン - 2040年への協働戦略 (H23年12月) の概要

## 見直しのポイント

### 趣旨

長期ビジョンの策定から10年が経過する中、人口減少社会の到来、世界規模での構造変化など時代潮流が変わる中で地域課題が顕在化してきた。一方で、地域ビジョン委員の活動など県民主体の活動から、兵庫の「めざす姿」が次第に明らかになってきた。こうした動きを的確にとらえ、より県民に分かりやすいビジョンとするため、全県ビジョンの見直しに取り組んだ。

### 経緯・概要

平成19年度から全県ビジョン見直しに向けた時代潮流の調査研究に取り組むとともに、平成21年度から一般県民や若者などを対象にした「兵庫みらいフォーラム」などを通じて、幅広い層の将来への意見を集約してきた。併せて、長期ビジョン審議会において見直しの検討を重ね、平成23年11月に答申を受けた。今回の改訂では、「21世紀兵庫長期ビジョン - 2040年への協働戦略」として、現行の4つの社会像のもとでの新たな12の将来像、その実現のために地域社会を構成する多様な主体が共に取り組む12の協働シナリオなどを柱としている。

## 21世紀兵庫長期ビジョン - 2040年への協働戦略

### 兵庫の将来像

#### 2040年にめざすべき兵庫の姿：創造と共生の舞台・兵庫

実現したい兵庫の姿（現行ビジョンの4つの社会像のもとでの12の新たな将来像）

社会像	将来像	見直しのポイント
創造的市民社会	1 人と人のつながりで自立と安心を育む	(創造的市民社会) 超高齢社会、人のつながりの希薄化に備える 1 人と人のつながりの中での自立・安心 ➢ 人のつながり・支え合いの中で個が自立し、生涯健康で安心して暮らせる共助の結わえ直し ➢ 新しい高齢者像の確立など、誰もが地域や社会での役割を実感できる兵庫
	2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する	2 次代を担う人づくり ➢ 創造性豊かに個性を發揮し、地域や世界の課題に貢献する人材育成
	3 次代を支え挑戦する人を創る	(しごと活性社会) 世界規模での構造変化を乗り越える 3 地域資源の徹底活用による地域のしごと創出 ➢ 歴史・文化、自然など地域資源を再評価・活用したしごとづくり ➢ 高齢者向け生活ビジネス、社会貢献型ビジネスの拡大・普及
しごと活性社会	4 未来を拓く産業の力を高める	4 世界化の中での成長産業 ➢ 県内の科学技術基盤の活用、成長分野の技術革新などによる世界と共に成長する産業づくり
	5 地域と共に持続する産業を育む	(環境優先社会) 食・エネルギーの自立力を高め、災害を最小限に抑える 5 自然の恵みを生かした自給持続力の向上 ➢ 農の担い手づくりと地産地消、多様な再生可能エネルギーの最適な組み合わせなどによる食とエネルギーの自立力向上
環境優先社会	6 生きがいにあふれたしごとを創る	6 災害に強い安全安心の地域づくり ➢ 風水害、地震、津波などの自然災害や大規模事故に対し、防災の基盤づくりに加え、逃げる・助け合うなどによる減災の重視
	7 人と自然が共生する地域を創る	(多彩な交流社会) 人口減少を逆手にとって地域をデザインする 7 人口減少などに対応した新しい空間活用 ➢ 今後生じる空き空間を地域の交流、就業、産業づくりの場などに効果的に活用
多彩な交流社会	8 低炭素で資源を生かす先進地を創る	8 狭域から広域まで多様な地域連携 ➢ まちからむらへの人の流れによる集落・都市双方の共生 ➢ 人材受入や環境、防災等での協力・貢献、経済・産業の一体的成長など、相互に補完しながら成長するアジア交流圏の形成
	9 災害に強い安全安心な基盤を整える	
	10 地域の交流・持続を支える基盤を整える	
	11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す	
	12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ	

### 基本姿勢

#### 自立 と 連帯

- ◆ 豊かな個性を生かした人と地域の自立
- ◆ 人と人、人と地域が連帯する新しい地域社会

#### 安心 と 活力

- ◆ 生活、産業、地域を支える安心
- ◆ 明日の兵庫を生み出す産業の活力

#### 継承 と 創造

- ◆ 地域に根ざした豊かな自然と文化の継承
- ◆ 自然の恵みを生かした新しい価値の創造

### 兵庫の可能性を開花させるための12の協働シナリオ

地域社会を構成する県民、地域団体、NPO、企業、行政等が協働して将来像を実現していくための取組方向

協働シナリオ	
つながりによる家族・地域の再生	人と自然が共生した持続する地域づくり
生涯健康で生き生き活躍できるしくみと場づくり	低炭素・省資源による自立した地域づくり
地域と世界で活躍する次代の人づくり	災害に強い安全安心な地域づくり
国内外と一体で成長を生み出す産業づくり	確かな地域経営を支える交流・持続基盤づくり
地域を生かし共に持続する産業づくり	個性を生かし自立する多彩で元気な地域づくり
一人ひとりが持ち味を發揮できるしごとづくり	アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり

地域の個性・強みを生かした地域ビジョンの改訂

### 改訂後の全県ビジョンのもとでの取組

#### < ビジョン推進方策の検討 >

ビジョンで示された将来像と、その実現のための協働シナリオを具体化する推進方策のあり方の検討

#### < 地域力指標の検討 >

ビジョンの実現状況の評価ツールになるとともに、地域の誇りと豊かさを実感できる尺度としての地域力指標の検討

#### < 改訂後の地域ビジョンとの連携 >

意欲ある県民の参画による実践活動、地域資源の活用、地域の担い手の広がりなど、これまでの地域ビジョン委員活動の成果などを踏まえながら、県民の参画をさらに広げるしくみの検討

**1 ビジョンの点検・見直しの必要性**

- ・ビジョン策定後の時代潮流の変化などに伴う様々な地域課題の顕在化
- ・県民主体の多彩な地域活動の積み重ねを踏まえ、21世紀の兵庫づくりに向けた県民の取組が一層広がるよう、よりわかりやすく取り組みやすい形へと充実することの必要

**2 ビジョンの実現状況と4つの社会像の意義**

- (1)実現状況 - 概ね実現に向けて進みつつあるが、地域での支え合いの仕組みの再生、地域産業の振興、就業機会の拡大、温室効果ガスの削減、防災基盤の確立、集落空間劣化への対応など、いくつかの分野で一層の取組が必要
- (2)社会像の意義 - 時代潮流が変化中、支え合いによる安全安心の暮らし、地域資源を活用した創造的なしごとづくり、自然と調和した持続可能な地域づくり、地域間の連携や世界との交流拡大の取組は重要性を増しており、4つの社会像の意義はさらに高まっている

**3 展望年次・想定年次**

- ・展望年次(将来を考えるために見通しておく時期) : 2030年頃 2040年頃
- ・想定年次(ビジョン実現に向けた取組の時期) : 2010年頃 2020年頃

**4 性格と役割**

- ・県民主役・地域主導の自立的な地域づくりの指針
- ・地域ビジョンの実現を支援するとともに、市町、他府県域との連携・協働を図る基盤
- ・県の各分野計画等とも将来像を共有し、県政諸施策に反映

**〔第4部〕見えてきた課題群**

- ・時代潮流の変化や幅広く県民から得た意見を基に、地域が直面する課題、今後起こりうる課題を抽出
- ・基本課題(「豊かな生活」「世界に開かれた兵庫」「持続する地域構造」)に沿って整理

**1 豊かな生活** (P17 - 21)

世帯が変容する中での生活の質の低下、セーフティネットとしての地域力低下、厳しい雇用就業環境で求められる多様な働き方

**2 世界に開かれた兵庫** (P22 - 26)

世界とのさらなる結びつきが求められる兵庫経済、グローバル化の中での多文化との交流・共生、兵庫を支える人材の育成と集積

**3 持続する地域構造** (P27 - 32)

疎住化が進む多自然地域の集落・地方都市における都市との交流や賑わいづくり、今後高齢化が加速する大都市・ニュータウンにおける多世代が豊かに住まうまちづくり

**〔第5部〕これからの兵庫の将来像**

- ・県民からの将来像に関する意見や進みつつある取組、地域ビジョンの方向、これまでの調査研究等を踏まえてとりまとめ
- ・全県ビジョンの社会像をフォローするものとして、めざす将来像をよりわかりやすく提示

**1 兵庫の将来像** (P33, 35 - 85)

- 〔創造的市民社会〕  
人と人のつながりで自立と安心を育む  
兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する  
次代を支え挑戦する人を創る
- 〔しごと活性社会〕  
未来を拓く産業の力を高める  
地域と共に持続する産業を育む  
生きがいにあふれたしごとを創る
- 〔環境優先社会〕  
人と自然が共生する地域を創る  
低炭素で資源を生かす先進地を創る  
災害に強い安全安心な基盤を整える
- 〔多彩な交流社会〕  
地域の交流・持続を支える基盤を整える  
個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す  
世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

**2 兵庫の未来像** (P33)

- ・時代潮流や課題を踏まえて社会像ごとに見出した12の将来像を横断し、2040年にめざすべき兵庫の姿を示す
- 創造と共生の舞台・兵庫 -

**〔第6部〕将来像を実現するための基本戦略**

- ・県民からの意見、将来像実現のための取組課題を踏まえ、多様な主体が協働した取組の方向を提示
- ・全県ビジョンで示した将来像の実現方向をフォローし、取組の方向をわかりやすく提示

**1 基本姿勢** (P34)

- ・将来像の実現に向けた取組を展開するにあたり、各主体が共有すべき基本的考え方  
自立と連帯 安心と活力 継承と創造

**2 各主体の役割** (P34)

- ・協働シナリオを実行していくための各主体の役割を示す

**3 兵庫の可能性を開花させるための協働シナリオ** (P35 - 87)

- ・兵庫の将来像を実現するため、2020年頃を想定した取組を、各将来像に即して示す

- つながりによる家族・地域の再生
- 生涯健康で生き生きと活躍できるしくみと場づくり
- 地域と世界で活躍する次代の人づくり
- 国内外と一体で成長を生み出す産業づくり
- 地域を生かし共に持続する産業づくり
- 一人ひとりが持ち味を発揮できるしごとづくり
- 人と自然が共生した持続する地域づくり
- 低炭素・省資源による自立した地域づくり
- 災害に強い安全安心な地域づくり
- 確かな地域経営を支える交流・持続基盤づくり
- 個性を生かし自立する多彩で元気な地域づくり
- アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり

**〔第2部〕兵庫の特性と潮流変化**

**1 兵庫の特性** (P3)

- ・多様な地域特性や資源と愛着 時代を先取りする進取の気性
- ・課題解決の技術の蓄積 多様な産業活動の展開 充実した生活安心基盤 等

**2 ビジョン策定後顕著となった時代潮流** (P4 - 14)

- (1)人口減少社会の到来 - 人口減少・少子高齢化、人口の偏在化、世帯構成員の減少、高齢者世帯の増加、経済活動の担い手の減少 等
- (2)価値観や豊かさの変容 - 雇用の格差の広がり、高齢者の捉え方・住まい方の変化、生活の向上感の低下 等
- (3)世界規模での構造変化 - グローバル化の進展、多極化する世界経済、進む企業の海外進出 等
- (4)地球の限界 - 食料需給・エネルギー需給逼迫の可能性、生物多様性保全の重要性、身近な課題となった気候変動 等
- (5)生活に浸透する情報通信技術 - 暮らしに密着したインターネット、ネットワークが及ぼす光と陰
- (6)公と民をめぐる変化 - 行政を取り巻く変化、地域づくり活動の拡大と担い手の多様化

**〔第3部〕県民意見、地域ビジョンの改訂から見ためざすべき姿**

**1 県民意見から見ためざす姿の方向** (P15)

- 県民から得た様々な意見を課題、将来像、取組の3区分で整理し、それぞれ第4部の課題群、第5部の将来像、第6部の協働シナリオに反映
- (1)課題提起 - 豊かさの見直しと生活の安全安心づくり、グローバル化の中での産業の活性化や多文化共生の地域づくり、地域の活力低下と持続する地域づくり
- (2)将来像提起 - 共に支え合い安全安心が実感できる豊かで多様な暮らし、人が育ち集まることで活力や魅力がある世界に開かれた地域、多様な交流・連携により自立した地域
- (3)取組提起 - つながりやゆとりの創出、多様な働き方の実現、兵庫・地域を支えるしごとの創出、人材の育成・集積、交流人口の拡大、地域資源の活用、住民主体の地域経営

**2 地域ビジョンの改訂から見ためざすべき姿** (P16)

- ・元気で豊かな生活の実現 地域が自立・持続するしくみづくり
- ・世界に開かれた地域づくり

**〔第7部〕長期ビジョンをフォローアップするための指標(地域力指標)** (P88 - 89)

**1 改訂後のビジョンに対応した新しい指標の考え方**

- ・美しい兵庫指標を再編し、経済的指標だけでなく環境、社会の側面から豊かさを明らかにする指標
- ・各地域の強みを県民主体で発見し、地域づくりの気運醸成につなげる県民参加型の指標づくり

**2 地域力指標のイメージ**

- ・地域の豊かさを表す指標群(12の将来像・協働シナリオごとにキーワードを設定し、指標のカテゴリー化・階層化)
- ・地域ビジョンと連携した地域資源数え上げ型の指標づくり 地域の豊かさを柔軟に可視化できるツールづくり

参考資料 2040年の兵庫の暮らしのイメージ (P90 - 102) ・12の「将来像」と「協働シナリオ」が実現した姿をわかりやすく示す